再生可能エネルギーの導入拡大

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた施策の取組事例/北海道開発局

インフラ整備による温室効果ガス排出削減

・CO₂削減に大きく寄与する道 路ネットワークの整備、渋滞 対策等を推進。

く道路ネットワークの整備>

・ 令和3年度から令和7年度ま での国道の開通により、COっ 排出量が約6万t/年削減。

・農地の大区画化により、長

い直線区間が確保され効

率的な作業が可能となり、

・石狩湾新港において、大型

船に対応した岸壁整備、泊

地の浚渫等、国際物流ター

・これにより、大量一括輸送

が可能となり、CO。排出量

ミナルの整備を推進。

が約8千t-C/年削減。

CO₂排出量を削減。

<農地の整備>

<港湾の整備>



北海道横断自動車道(根室線) 阿寒IC~釧路西IC(R6.12全線開通)

大区画化により農業機械の旋回

回数が削減

<道路照明灯のLED化>

道路照明灯をLED化するとともに、設置間隔を広げること により、消費電力量を削減し、CO。排出量を削減。





鹿追町環境保全センター

国道230号 三富トンネル (洞爺湖町)

資源の有効活用に向けた取組

堤防除草で発生する刈草を鹿追町に提供。町はこれを原

河川管理で発生する河道内樹木の伐採木を自治体・バ

イオマス事業者等へ無償提供。令和4年度には、更なる有

効活用促進のため、伐採木の情報を広く提供する「木材バ

<河川管理で発生する刈草・木材の活用>

料にバイオガスを製造し、燃料として活用。

ンケーを構築。

堤防除草

制を構築。

・北海道開発局の10の

口」を設置し、市町村

が気軽に相談できる体

開発建設部に「地域窓

道の駅での充電状況

市町村



道の駅「石狩あいろ一ど厚田」での充電状況

<「道の駅 |を活用した次世代自動車の普及促進>

脱炭素地域づくりの取組

運輸局

<脱炭素に関する市町村からの相談窓口設置>

EVの普及に向け、 道の駅への急速 充電施設の設置 を促進するため、 市町村等に設置 事例や支援制度 を情報提供する とともに、相談に 対応。

<北海道インフラゼロカーボン試行工事の取組拡大>

·北海道開発局、北海道、札幌市、鉄道建設·運輸施設整 備支援機構(JRTT)・NEXCO東日本北海道支計が共同 し、建設業におけるカーボンニュートラルの意識醸成を図る「北 海道インフラゼロカーボン試行工事」の取組を推進。



⟨CO2削減効果が高いなど、 推奨・拡大が期待される取組事例

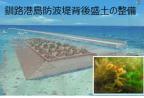
- 環境対策型建設機械の活用 環境に配慮した素材の使用 バイオ燃料の活用

CO。吸収力の発揮

<ブルーカーボン生態系の創出>

人工リーフの整備にあた り、水産牛物の牛息に 配慮し、水産協調型ブ ロックを使用。ブロックに 海藻類が付着・生育し、 COっを吸収・貯留する海 藻類の生育環境を創出

防波堤等の整備にあた り、従来の防波堤機能 に加え、水深の浅い背 後盛土上で藻場を創出 することにより、CO₂吸 収源としての効果を発 揮。



くダムによる水力発電の推進>

- 発電の目的を備え た多目的ダムで水力 発電を実施。
- ・新桂沢ダムでは、河 川環境を維持するた めの放流水を活用し 河川管理者と発電 事業者が連携して 新たな小水力発電 施設の導入を推進



新桂沢ダム

<農業用水を活用した小水力発電の推進>

老朽化した農業水利 施設の改修と併せ、 用水路等の落差を利 用した小水力発電施 設の導入を推進



過年度の実施地区の例 当麻永山用水地区区

<河川防災ステーションへの再生可能エネルギーの導入>

・新設する大空地区河川防災ステーション(大空町)に、 太陽光発電施設や空調に利用する地中熱ヒートポンプ設 備を導入。



<i-Constructionの推進>

・建設施工段階において、測位 技術・センサー・通信技術等を 組み合わせることで施工期間 短縮を図り、建設機械からの CO。排出量を削減。



約30,000DWT船 (現状は水深

の制約により満載で入港出来ず)

ICT建設機械での切土法面の掘削状況

官庁営繕におけるZEB化の推進

・庁舎新築にあたり、ZEB化、 太陽光発電設備の採用、積 極的な木材利用等を実施。





<雪氷熱の利用促進に係る体制構築に関する調査>

道路等で除雪・運搬している雪を、行政コストの削減に繋 がる範囲内において、冷熱源として利用希望のある民間 施設等に運搬する仕組みの構築に向けた調査を実施。







白老工区 人工リーフの水産協調型ブロック







ウニ、ナマコが生息・移動出来るように溝を配置

